



プレスリリース

フィデリティ投信が運用する複数のファンドが、高評価を獲得

- モーニングスター「ファンド オブ ザ イヤー2011」では、「フィデリティ・ストラテジック・インカム・ファンド Aコース(為替ヘッジ付き)」が、“最優秀ファンド賞”を受賞 -
- 「NIKKEI・QUICK 投信実力ランキング2011」では、「フィデリティ・US・リート・ファンド B (為替ヘッジなし)」が、“総合部門(3年評価(長期)評価)”で第1位に

<http://www.fidelity.co.jp/fij/html/award2011.html>

2012年2月1日、東京 - この度、フィデリティ投信株式会社(東京都港区)が運用する「フィデリティ・ストラテジック・インカム・ファンド Aコース(為替ヘッジ付き)」が、**モーニングスター社の(注)「ファンド オブ ザ イヤー2011」**の国際債券型(為替ヘッジあり)部門において最優秀ファンド賞を、「フィデリティUS・ハイ・イールド・ファンド」(高利回り債券型部門)と「フィデリティ・USリート・ファンド B(為替ヘッジなし)」(オルタナティブ型部門)が優秀ファンド賞を受賞しました。

「フィデリティ・ストラテジック・インカム・ファンド Aコース(為替ヘッジ付き)」は、前年のモーニングスター「ファンド オブ ザ イヤー2010」で、国際債券型部門の優秀ファンド賞を受賞しており、2年連続の栄誉となりました。当ファンドは、世界の社債や国債を、最適と考える配分に組み合わせた国際債券型ファンドの“草分け”として、98年9月に設定されました。当ファンドのトータルリターンは、2011年12月末日現在、設定来で年率2.6%、過去10年で年率3.6%、過去5年で年率3.5%、過去3年では年率10.4%と、相対的に堅実な運用実績を残しています。

(注) 当賞はモーニングスター社が国内追加型株式投資信託を選考対象として、同社独自の定量/定性分析に基づき、2011年において各部門別に総合的に優秀であると判断したものです。

また、当社が運用する「フィデリティ・USリート・ファンド B(為替ヘッジなし)」は、「**NIKKEI・QUICK 投信実力ランキング2011**」の総合部門、及び代替投資部門(共に3年評価(長期)評価)において第1位を獲得。そのほか、当ランキングの海外債券(新興国・ハイ・イールド)部門では、当社が運用する「フィデリティUS・ハイ・イールド・ファンド」が第1位(3年評価(長期)評価)と1年評価(短期)評価の双方)を獲得しました。

(注) 当ランキングは、日本経済新聞社と情報配信会社であるQUICK社が共同で実施し、国内の全ての追加型株式投資信託を対象に過去の運用実績および資金流入額をもとに、ファンドをランク付けするものです。

モーニングスター「ファンドオブザイヤー2011」



最優秀ファンド賞 受賞

“**堅実運用**”

フィデリティ・ストラテジック・インカム・ファンド Aコース (為替ヘッジ付き)

(国際債券型(為替ヘッジあり)部門 (対象ファンド本数:96本))



優秀ファンド賞 受賞

“**米国リートの本流**”

フィデリティ・USリート・ファンドB (為替ヘッジなし)

(オルタナティブ型部門 (対象ファンド本数:320本))



優秀ファンド賞 受賞

“**長期的に成長が期待されるコア資産()**”

フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド

(高利回り債券型部門 (対象ファンド本数:453本))

()私たちの資産は、日常生活で使う現預金などの安全資産と、長期資産形成を目指す資産に分けることができます。国債と株式の中間のリスク特性を持ち、高利回りによって長期での資産成長が期待できるハイ・イールド債券は、長期資産形成のコア資産として期待されると考えます。

*Morningstar Award “Fund of the Year 2011”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2011年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際債券型(為替ヘッジあり)部門は、2011年12月末において運用期間1年以上の当該部門に属するファンド96本の中から選考されました。オルタナティブ型部門は、2011年12月末において運用期間1年以上の当該部門に属するファンド320本の中から選考されました。高利回り債券型部門は、2011年12月末において運用期間1年以上の当該部門に属するファンド453本の中から選考されました。

「NIKKEI QUICK 投信実力ランキング2011」

当社が運用するファンドの主なランキング概況は、下表のとおりです。

(3年評価(長期評価))

順位	部門	ファンド名
1	総合部門	フィデリティ・USリート・ファンド B(為替ヘッジなし)
5	総合部門	フィデリティ・US・ハイ・イールド・ファンド
1	海外債券(新興国・ハイ・イールド)部門	フィデリティ・US・ハイ・イールド・ファンド
1	代替投資部門	フィデリティ・USリート・ファンド Bコース(為替ヘッジなし)

(1年評価(短期評価))

順位	部門	ファンド名
5	総合部門	フィデリティ・US・ハイ・イールド・ファンド
1	海外債券(新興国・ハイ・イールド)部門	フィデリティ・US・ハイ・イールド・ファンド
9	代替投資部門	フィデリティ・USリート・ファンド B(為替ヘッジなし)

当ランキングの詳細については、QUICK社が運営する下記の「QUICKマネーライフ」のURLより、アクセス頂けます。 <http://money.quick.co.jp/fund/nqr2011/top.html>

評価機関: 日本経済新聞社、株式会社QUICK

評価基準日: 2011年12月末日

当該評価方法は過去一定期間の実績を評価したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。 リスクおよび手数料等のファンドの詳細に関しましては、ファンド名をクリックのうえ、ファンド概要ページにてご確認ください。

フィデリティ投信について

フィデリティ投信株式会社は投資信託及び企業年金や機関投資家向け運用商品やサービスを提供しています。1969年に外資系運用会社として初めて本邦に拠点を設け、日本企業の調査を開始。1990年より日本の年金向け運用業務に参入、1995年に証券投資信託委託業務免許を取得し、同年12月に最初の国内投資信託を設定しました。公募投資信託の資産残高は約1.6兆円(2012年1月末現在)、外資系運用会社では首位の位置にあります。

フィデリティ投信はFILリミテッドの傘下にあります。FILリミテッド傘下の資産運用サービスを提供する企業は「フィデリティ・ワールドワイド・インベストメント」と総称されます。フィデリティ・ワールドワイド・インベストメントは、資産運用業界におけるグローバル・リーダーとして、英国、欧州、中近東及びアジア太平洋地域の個人投資家や機関投資家に向け、資産運用サービスを提供しています。1969年に設立、現在は世界24カ

国でビジネスを展開、従業員は 5,000 名を超え、預かり及び運用資産は約 20 兆円(1 米ドル = 76.940 円で計算、データ 2011 年 12 月 30 日現在)にのぼります。ファンド等の延べ受益者数は 700 万を超え、720 本を超える株式、債券、不動産、アセット・アロケーション型のファンドの運用を行なっています。運用を担当するファンド・マネージャーは、世界 12 カ国で調査を行なう、業界でも最大級の調査チームによる調査情報へのアクセスがあります。フィデリティ・ワールドワイド・インベストメントは独立系の運用会社で、非公開企業です。

- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。
- 投資信託のお申し込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様自身の責任においてなさいませうようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- 販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。
- 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- 投資信託は、国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面を良くご覧下さい。
- 投資信託説明書(目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、販売会社につきましては以下のホームページ(<http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html>)をご参照ください。
- ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。
- 申込時に直接ご負担いただく費用： 申込手数料 上限 3.675%(消費税等相当額抜き3.5%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用： 信託財産留保金 上限 1%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用： 信託報酬 上限 年率2.0265%(消費税等相当額抜き1.93%)
- その他費用： 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。

当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。ファンドに係る費用・税金の詳細については、各ファンドの投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

ご注意) 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、フィデリティ投信が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しておりますが、当資料作成以降において変更となる場合があります。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

フィデリティ投信株式会社 金融商品取引業者
登録番号： 関東財務局長(金商)第388号
加入協会： 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会。

MK120131-1